

菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品調査報告

活動履歴

●第12回作品調査（2017年4月9日 1日間）

参加のべ人数 7人

（作業内容）

- ・作品へのナンバリング作業

●第13回作品調査（2017年5月13日 1日間）

参加のべ人数 7人

（作業内容）

- ・作品へのナンバリング作業、額掃除

●第14回作品調査（2017年6月11日 1日間）

参加のべ人数 9人

（作業内容）

- ・作家ごとに作品移動し並べ替え

●第15回作品調査（2017年7月1～2日 2日間）

参加のべ人数 8人

（作業内容）

- ・作家ごとに作品移動

●第16回作品調査（2017年8月26～27日 2日間）

参加のべ17人

（作業内容）

- ・吉山さんの作品並び替え、額掃除

●第17回作品調査（2017年9月9～10日 2日間）

参加のべ9人

（作業内容）

- ・額掃除、額修理

12～17回の作品調査への協力者はのべ人数で57人。

*今後の予定

作品の登録番号貼付作業に着手し、合わせて絵画のコンディションチェックを行いたい。

(作品調査の様子)



作家ごとの作品並べ替え



剥落を防ぐために薄用紙で包装する



額の補修作業



まとめ

今年4月から9月までの間、県外の学生ボランティアを含め大勢が関わって作業が続いた。中にはハンセン病の歴史を知らない人もいたが、作業を通じて学びは始めている。作品調査を入り口にして歴史資料館へ足を運ぶなどの姿もみられた。また、現在も園内で作品を制作されている吉山安彦さんとの出会いは、この歴史をより身近に感じる事ができたと思う。

今後も、作品登録リスト作りおよび歳月を経て劣化の著しい作品の保護等進めて行きたい。

この活動が共感をよび、以前から計画していた、奄美出身者の絵画を中心とした作品展を2018年3月～5月にかけて奄美市の3会場で開催することも決定した。

閉鎖的に捉えられがちな療養所での作品保存活動がもっと多くの方々に認知され、開かれたものになるように続けて行きたい。

2017年10月15日

一般社団法人ヒューマンライツふくおか

代表理事 古長美知子

収支報告

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品調査

作品の調査及び保存と修復に掛かった経費

収入

項目	金額	備考
助成金	50,000	熊本放送文化振興財団より
収入合計	50,000	

支出

項目	金額	備考
データ保存用USB	2,250	BUFFALO RUF3-WB
聞き取り用ICレコーダー	9,750	OLYMPUS DM-720
撮影費	32,400	カメラマン1名×2回
作品修復用資材	5,600	薄葉紙/テプラテープ/エタノール他
支出合計	50,000	

助成金収入 50,000円 - 事業支出 50,000円 = 0円

H29.9.30

一般社団法人ヒューマンライツふくおか

